



「観る・測る・解く」

4次元細胞計測の現状と未来

日時：2017年6月28日 9:30-18:00

場所：理化学研究所和光キャンパス 生物科学研究棟 鈴木梅太郎ホール

主催：理化学研究所戦略的研究展開事業

「多階層をつなぐ 4D 細胞計測の次世代化による細胞動態の理解と操作」

9:00~	受付	
9:30~ 9:35	開会の辞	代表中野明彦
9:35~ 9:45	理事挨拶	理事小安重夫
9:45~10:20	幹細胞からの機能的な立体組織形成	CDB 永樂元次
10:20~10:50	4D 細胞計測の究極を目指して：小さく速く、そして深く	RAP 中野明彦
10:50~11:20	バイオイメージングの次元に関する考察	BSI/RAP 宮脇敦史
11:20~11:50	4D 細胞計測のその先にあるもの:知識抽出,データ共有,そして	QBiC 大浪修一
11:50~13:00	LUNCH	
13:00~14:00	ポスターセッション（生物科学研究棟 2F ロビー）	
14:00~14:40	未知の細胞機能を照らし出す全次元解析の未来	CLST 清末優子
14:40~15:10	情報処理による 4D 細胞現象の”見る”から”観る”そして”わかる”へ	RAP 横田秀夫
15:10~15:40	4D 細胞計測の次世代化を目指して：見て、測って、操作する	QBiC 岡田康志
15:40~16:00	BREAK	
16:00~16:30	散乱光から生物学的情報を取り出す	QBiC 渡邊朋信
16:30~17:00	形態形成のロジックを読み解く	CDB 林 茂生
17:00~17:30	腸管上皮 M 細胞の細胞生物学	IMS 大野博司
17:30~18:00	細胞内情報伝達のイメージング	ILs 佐甲靖志
18:00~18:10	閉会の辞	中野明彦
18:30~20:00	意見交換会（広沢クラブ）	